

# 縄文のうた

吉田 怜子(茅野市)

今、日が昇る ハヶ岳の肩から

<sup>こ</sup><sup>こ</sup>  
此地は五千年の昔

<sup>み</sup><sup>ず</sup>  
湧水や野山や黒耀石の

豊かな自然に恵まれて

縄文集落<sup>むら</sup>の栄えた大地<sup>ち</sup>

知恵や暮らしが埋もれてる

技や祈りも埋もれてる

時は今、皆目をこらせ

見えない暮らしを読みとろう

時は今、皆耳をすませ

<sup>おも</sup>  
想いや祈りを聞きとろう

時は今、皆想いを巡らせ

土器や土偶や遺跡の秘める

縄文集落<sup>むら</sup>の謎解く時だ

今、日が沈む、諏訪湖の彼方に

縄文文化の眠る大地<sup>ち</sup>に

明日、又、光を照すため

明日、又、光を照すため